

## 大阪市まち・ひと・しごと創生会議

1 日 時 令和6年3月14日(木) 15:30~16:40

2 場 所 本庁舎5階 特別会議室

3 出席者【大阪市まち・ひと・しごと創生会議メンバー】

横山市長、高橋副市長、山本副市長、西山副市長、  
市政改革室行政改革担当部長(代理出席)、デジタル統括室長、浪速区長、  
政策企画室長、危機管理監、経済戦略局長、万博推進局理事(代理出席)、  
市民局長、財政局長、計画調整局長、福祉局長、健康局長、  
こども青少年局長、環境局総務部長(代理出席)、都市整備局長、  
建設局長、大阪港湾局理事(代理出席)、教育次長  
(東成区長は欠席)

【大阪市まち・ひと・しごと創生会議メンバー以外】

副首都推進局長、大阪都市計画局長(代理出席)

4 議 題 (1) 第2期大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の振り返りについて  
(2) 大阪市未来都市創生総合戦略の策定について

5 会議要旨

・政策企画室より、以下の内容について、一括して説明を行った。

- (1) 第2期大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組期間における各基本目標の数値目標及び具体的な施策の進捗状況の概要と、進捗状況を踏まえた戦略の総括について
- (2) 大阪市未来都市創生総合戦略策定の経緯及び戦略の方向性や基本目標等の概要について

(主な質問・意見及びその見解等)

・「成長戦略」や「副首都ビジョン」との関係性について

- 新たに策定する「大阪市未来都市創生総合戦略」(以下、「本戦略」という。)と「成長戦略」及び「副首都ビジョン」との関係性は。
- ➡ 成長分野など、「成長戦略」における本市に関わる内容については本戦略にも取り込んでいる。また、「副首都ビジョン」が掲げる「副首都・大阪の実現」を、本戦略の基本的な視点の一つとし、戦略の方向性にも掲げて取組を推進する。

#### ・本戦略の位置付けについて

- 本市における本戦略の位置付けは。
- ➡ 本戦略は、各個別の計画や方針等を包含し、本市が総合的に取り組むべき内容を包括的に取りまとめた戦略と位置付けている。

#### ・実質成長率にかかる目標値について

- 年平均2%以上とあるが、この目標値設定の認識は。
- ➡ 「成長戦略」で年平均2%以上との目標値を設定し、府市の総合戦略でも同目標値を設定している。「成長戦略」や府の総合戦略の目標値が変更された場合は、必要に応じて本戦略にも反映する。

#### ・転入転出者の状況について

- 対東京圏への転出者の状況と東京圏以外の地域との転入出の状況は。
- ➡ 令和5年の状況として、本市から東京圏への転出超過数の約7割が20～34歳の年代であり、東京圏以外の地域では、海外を含め、本市への転入が超過している。
- 転入出者に関する属性別の精緻な分析を進めてもらいたい。

#### ・具体的な施策の進捗状況の評価について

- KPIの令和5年度実績値が未測定であるにもかかわらず、「順調」としている評価の認識は。
- ➡ KPIに基づき進捗状況の評価することを基本としつつ、各施策のもとで行っている取組の進捗状況も把握しながら評価を行っている。

#### ・評価手法について

- 市民からも分かりやすい手法を今後検討すべきでは。
- ➡ より分かりやすい評価手法を検討する。

#### ・大阪におけるスタートアップ創出数に係る目標値について

- 大阪におけるスタートアップ創出数に係る目標値設定の考え方は。
- ➡ 本市では、スタートアップ・エコシステム拠点都市として、国からの指定を受けながら取組を推進しており、その計画で掲げている数値目標を本戦略でも採用している。

#### ・「健康都市大阪の実現」に向けた主な事業のKPIについて

- 「健康都市大阪の実現」に向けて取り組む各事業においてKPIを設定しているのか。
- ➡ 個々の事業のKPIは本戦略に記載は無く、例えば、がん検診受診率などのKPIは「大阪市健康増進計画」で設定している。

#### ・KPIや工程表の作成手法について

- 施策によってKPIの設定や工程表に差があるが、目指す姿と年度ごとの取組工程を可能な限り明確にできるよう検討すべきでは。
- ➡ 意見を踏まえ、施策の性質や内容に合わせて検討する。